

報道機関各位

プロの漫画家が高校生へ直接指導！

「デジタル作画アウトリーチ事業」を開始します

北九州市は、日本を代表する漫画家である松本零士氏や、わたせせいぞう氏、北条司氏等、著名な漫画家を多数輩出する文化的土壌を有し、漫画をはじめとしたメディア芸術による文化振興を推進しています。

その取組みの一環として、小学校へプロの漫画家を派遣し、漫画を描く楽しさや表現方法を学び、漫画を通じた自己表現の機会を提供する「小学生漫画アウトリーチ事業」を実施するなど、学童期より漫画に触れる機会の創出を図ってまいりました。

この度、近年需要が拡大しているデジタル作画の技術等をプロの漫画家から学び、スキルの向上や人材育成に資するため、市内の高校生等を対象とした授業を新たにスタートいたします。

つきましては、下記のとおり授業の様子を公開いたしますので、是非ご取材をお願い申し上げます。

記

【デジタル作画アウトリーチ事業について】

- 1 実施時期 令和5年9月～令和6年2月
- 2 概要 市内6校の高校で実施
- 3 授業内容（90分間）
 - ・ 講師挨拶と北九州市の漫画文化について（5分）
 - ・ 職業としての漫画家と漫画家への道について（10分）
 - ・ 漫画制作手順について（5分）
 - ・ キャラクターの重要性と制作について（5分）
 - ・ デジタル作画について（5分）
 - ・ 作画の実践（55分）
 - ・ まとめ（5分）
- 4 講師 市内で活躍するプロの漫画家2名（プロフィール次ページ参照）

【取材可能日時】

- 1 日時 令和5年10月31日（火）16:00～17:30（90分）
- 2 場所 北九州市立高等学校（戸畑区浅生1丁目10-1）
- 3 参加者 同校美術・イラスト部 15名（予定）

【お問合せ・ご連絡先】

市民文化スポーツ局文化企画課メディア芸術担当
担当：（課長）村田・（係長）片山
電話：093-582-2389

【講師プロフィール(敬称略)】

1 ハシダ(北九州市在住、男性)

漫画アシスタントとして講談社『ヤングマガジン』、小学館『スペリオール』等の雑誌で作画の経験を積む。現在は株式会社COLT 専属クリエイティブとしてアニメーション、イラスト(漫画)、映像編集などを手掛ける。



2 タネオマコト(北九州市在住、男性)

ヤングマガジン月間賞5回、ちばてつや賞2回、コミックパンチ月間賞2回の受賞歴を持つ。

デジタルとアナログのどちらも対応し、幅広い分野の漫画を手掛ける。

現在はWebトゥーン作家として日韓で活躍中。



ふるさとの偉人
『那須良輔物語』

【参考：デジタルアウトリーチ実施スケジュール（全6校）】

- ① おおぞら高等学院小倉キャンパス(9月8日(金)実施済み)
- ② 北九州市立高等学校 (10月31日(火)16時00分～17時30分)※取材公開日
- ③ 西南女学院高等学校 (12月1日(金)16時00分～17時20分)
- ④ 福岡県立八幡中央高等学校 (12月19日(火)13時30分～15時00分)
- ⑤ 真颯館高等学校 (1月11日(木)13時50分～15時40分)
- ⑥ 福岡県立八幡南高等学校 (1月31日(水)16時00分～17時30分)

※取材公開は、原則②北九州市立高等学校ですが、その他の学校の取材をご希望される場合は、実施日の7日前までに「お問い合わせ・ご連絡先」の担当までご連絡をお願いいたします。